



西栗倉中学校だより

令和8年6月23日(火) 発行



15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校

(学校教育目標)

未来を拓き たくましく生きる力の育成 ～ 自律 協働 挑戦 ～

(校長雑感)

1学期も、残すところ1か月を切りました。5月には多くの方が学校に来てくださる機会があり、その中でさまざまな感想を伺いました。一部を紹介すると、「玄関を入ったら生徒が立ち止まって大きな声で挨拶をしてくれた。すごく気持ちよく、いい学校ですね。」「生徒の表情が明るく、授業にも熱心に取り組んでいますね。」「先生が授業をしているというより、生徒とともに授業をつくり上げているように感じました。」「生徒と先生の関係の温かさが伝わってきました。」などです。一人一人の小さな変化が、学校全体としては大きな変化となって表れてきています。

西栗倉の重要な産業の一つである林業からヒントを得て、生徒会執行部の生徒とともに考えた「幸せすぎ(過ぎ)」の取組でも、多くの「ありがとう」が貼られています。日常のちょっとしたことに「ありがとう」が言える関係は素敵ですね。また、「ここ コレ WANTWANT」の取組でも多くの意見が寄せられました。「〇〇だったらいいな」という要望を集め、少しでも生活しやすい学校にしていこうという取組です。先日、生徒会執行部より正式にまとめたものが届きましたので、実現可能なものについては早めに取り組もうと思っています。また、一部については、「運用に当たっての具体的な注意点やルールなども考えてほしい」とお願いしているものもあります。これも、生徒自身の手で過ごしやすい学校を考え、学校をつくってほしいと願っているからです。

さて、今月初めには、2年生は職場体験、3年生は修学旅行という大きな行事がありました。台風の接近もありましたが、どちらも無事に終えることができました。これらの行事を通して、生徒たちは学校だけでは得られない貴重な経験を積むことができました。

職場体験では、今年度新たに「インタビューの練習」を企画しました。Nestの協力により、村外(全国)の方々にご協力いただき、一人一台端末を活用した遠隔でのインタビューです。生徒たちは「緊張した」と話していましたが、この経験が、当日のより質の高いインタビューにつながったのではないのでしょうか。また、4日間にわたって事業所で活動する中で、それぞれの事業所がどのような思いで仕事をしているのかについても深く理解できたのではないかと思います。体験中に訪問した先生方に見せる笑顔からも、緊張しながらも一生懸命頑張った様子が写真を通して伝わってきました。

また、3年生の修学旅行では、台風通過直後ということもあり、一部で停電の被害が発生していたため、残念ながら平和祈念資料館・平和祈念公園を訪れることはできませんでした。しかし、ひめゆりの塔や資料館、あぶちらガマ、健児の塔などで、展示資料やガイドさんの説明を聞きながら、平和について真剣に考えることができました。今年は、平和学習の在り方についてさまざまな考えを伺う機会がありました。その中で、「歴史上の事実を知り、現在の状況を幅広く理解した上で、何が大切なのかを一人一人が考えられるようになることが大切だと思う」というガイドさんの言葉が印象に残っています。2日目は、班別での「あわくらみらい学」です。沖縄の方々に直接インタビューをしながら、さまざまなことを考える機会になったのではないのでしょうか。今後、どのように学びをまとめ、発展させていくのか楽しみでなりません。